

## 12. 薬物乱用防止～危険ドラッグ～

### 薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査

大麻や覚せい剤などの違法薬物を容認する生徒が増えていることが、国立精神・神経医療研究センターの調査※1で分かりました。回答した中学生のうち、「薬物乱用を肯定する生徒」は2クラス※2に約1人、「違法薬物を入手できると答えた生徒」は1クラスに約3人いました。



#### 【薬物乱用経験をもつ生徒の特長】

- 起床時間が一定してない
- 朝食を食べない
- 孤食が多い
- 大人不在で過ごす時間が長い
- 悩み事を親に相談しない
- 学校生活が楽しくない
- 遊び目的でのインターネット利用時間が長い
- 薬物乱用の誘いを断る自信がない

※1 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査（2018年）

※2 1クラスを40人で算出

### 薬物乱用の危機から未然に防ぐには？

子供が自分自身を大切にし、悪い誘いを寄せ付けない、誘われても断れる自信を育みましょう。そして、危険な場所に近づかず、もし、危険を感じたら、すぐに逃げるように話しましょう。

#### 「自分を大切に思える心」を育てる

- 食事や睡眠など健全な生活習慣、挨拶などの日々のコミュニケーションを大切にしましょう。
- 将来の夢や目標に向かっていく子供を支えていきましょう。
- 得意なことを褒めて、認めてあげましょう。

#### 【相談窓口】

千葉県精神保健福祉センター  
043-263-3891

千葉市こころの健康センター  
043-204-1582

【厚生労働省ホームページ】

「薬物乱用防止に関する情報」



### 子供の周りには危険がいっぱい！

子供を薬物乱用の危険から未然に防ぐには、保護者が子供の様子を日々注意深く見守り、周囲の環境を把握しておく必要があります。

#### 《子供を取り巻く環境をチェック》

- 子供に携帯電話やスマートフォンを持たせている
- 子供にインターネットにいつでも接続できるパソコンを使わせている。
- 高校生と遊ぶことがある。or 友達関係がわからない。

#### 《子供自身についてチェック》

- 帰宅時間が遅くなった。
- 理由のわからないお金を欲しがらなくなった。
- 食事を家族と一緒に食べなくなった。
- 目を合わせて会話をしなくなった。

危険な誘いは、あの手この手で子供達を脅かします。スマートフォンやパソコンが身近にあってインターネットがつながれば、危険な薬物は簡単に購入できてしまうのです。

